



美豆だより

特別号

平成29年11月吉日
京都市立美豆小学校
校長 高嶋 登

美豆小学校HP QRコード



紅葉の候 皆様におかれましてはますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃は本校教育にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

お忙しい中、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。このアンケートは、子どもたちや保護者、地域の方々の一人一人の声を大切にすると共に、共通認識のもと連携して取組をすすめ、子どもたちの学校生活をよりよいものにすることをめざしています。



★昨年度前期学校評価アンケートとの比較を通した分析

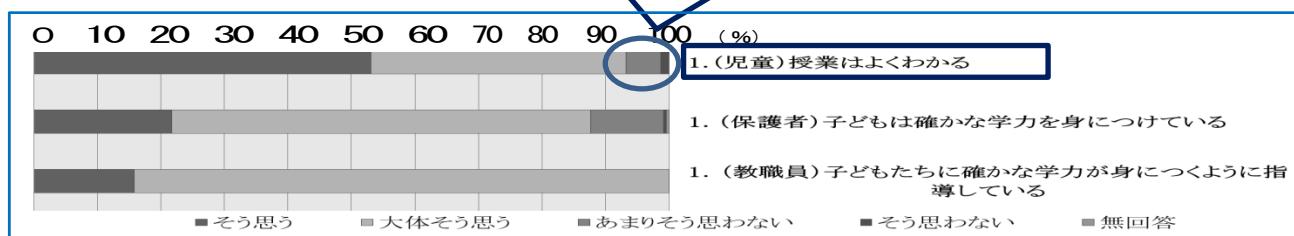
全体的に否定的な意見の割合が減り、その分肯定的意見の割合が増加しました。



1. 学力面について

① 学力について

昨年度より+7ポイント



② 授業について

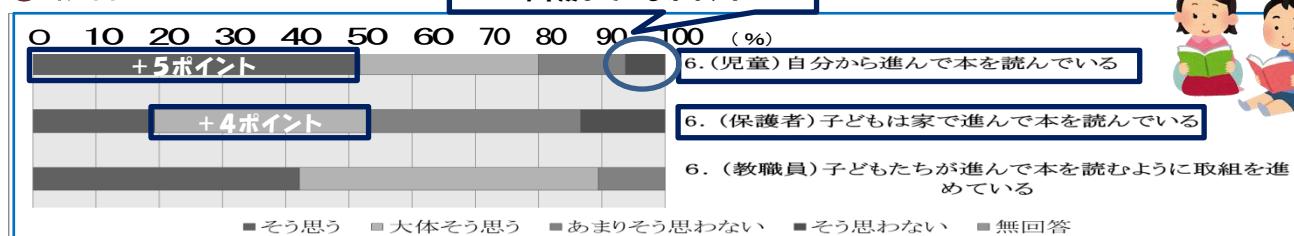
昨年度より+5ポイント



授業に関する項目では児童の「そう思う」の数値が10ポイント上昇しました。また、読書の項目でも同様に5ポイント上昇しています。学力向上の取組として、習熟度別学習《いきいきタイム》や、帯時間の「計算名人」、放課後の学習補充《ぐんぐんタイム》、「夏季算数教室」や懇談会中の「算数教室」を学校体制で進めてきました。「分かる喜び」「先生の丁寧な指導」を感じる児童の割合が増加し、否定的意見が減少したことは、成果と考えています。夏季算数教室に継続して1週間参加した児童が、計算力を伸ばし、これまで苦手とする領域に自信を付けたことがきっかけとなり、その後の学習意欲が高まり成績が向上したという例がありました。このような学力向上の取組を今後も継続して進めます。

③ 読書について

昨年度より+6ポイント



読書活動に関する項目では、ここ数年児童の意識向上が数値に現れてきていましたが、今年は保護者の「家で進んで本を読んでいる」の項目でも「大体そう思う」の数値が微増しました。学校では、教室前廊下にファイルワゴンを設置し、教科や総合的な時間の学習の関連図書を計画的に配架しています。また、学校司書によるブックトークを学習の導入に行なうなど、読書活動への興味関心を高める取組を行っています。このような図書館活用の取組を、学校司書と連携して今後も積極的に進めます。

④ 家庭学習について

昨年度より-4ポイント



家庭学習に関する項目では、児童の否定的意見の数値が減少しました。また、教職員では、「そう思う」の数値が10ポイント上昇しました。家庭学習はその日の学びを整理し知識として定着するための大切な学習です。また、自主的な学習は子どもの主体的な学びを誘発し、学力の向上に繋がります。今後も「課題の達成」と「授業と連動した家庭学習」を意識して取組を進めます。協力をお願いいたします。

⑤ 生活リズムについて

昨年度より-5ポイント



生活リズムの項目では、児童の否定的意見が減少しました。保護者の「そう思わない」は0ポイントになりました。テレビ・ゲーム・スマートフォンの使用時間に関する全国学力・学習状況調査の児童質問紙結果も、年々改善傾向が見られます。今後も放課後の過ごし方に関する啓発や、情報モラル学習を推進していきたいと思います。保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

【家庭からのご意見】

- 学習内容が少し難しくなったようですが、先生が丁寧に教えてくださっているので、楽しく学習できています。先生やお友達が上手に言葉かけをしてくださっていると思っています。
- 子どもががんばろうとする工夫をしていただき、効果が出ているように思います。図書館のイベントなどが行われ、本に触れる機会が多くてよいと思います。
- 国語や算数等の教室の学習以外にも、校区に出て、調べ活動をするなどバランス良く学習しているなど感じます。
- 地域の先生のお話を聞く体験は、意欲につながっているように思います。
- 図書館のイベントなどが行われ本に触れる機会が多くてよいと思います
- 同じ本ばかりを借りてくるので、いろいろな本に触れるよう指導していただきたいです。
- テストで間違った所がそのままになっているようで気になってますが、家ではなかなか見る事ができません。ぐんぐんのような時間が増えたり、問題に触れたりする時間があると嬉しいです。
- 内容を踏まえ今後の学校運営に生かしていきたいと思います。今後ともご理解・ご支援いただきますよう、お願いいたします。

学力向上に向けて

総合的な学習の時間に学習したことを、家で目を輝かせながら話す子どもの姿を見た保護者から、子どもたちが「学習を楽しむ姿」に驚きや喜びを感じると共に、取組そのものを評価するご意見を多数いただきました。

総合的な学習の時間では、調べるために必要な資料を収集し選択する力、表や図を使って分かりやすくまとめる力、目的に応じて収集した情報を取捨選択し分かりやすく伝える力、大事な所を落とさず聞く力など、教科で学んだ力を反復練習し定着するための大切な時間です。

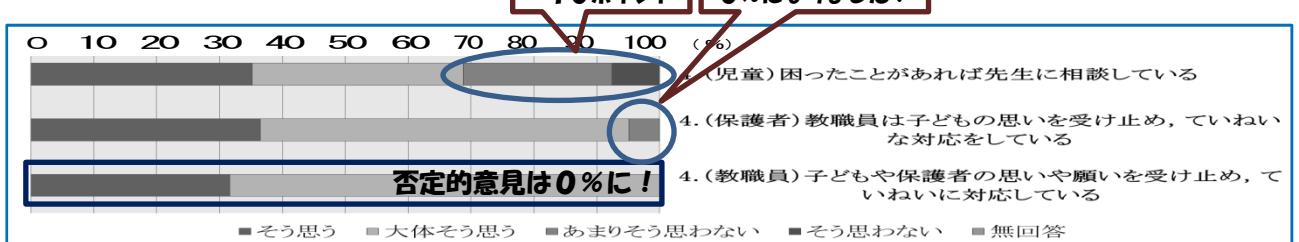
今後も「どうして?なぜ?分かった!もっと!」のような探究的な学習や「やっぱり!みんなも!あらためて思った!これからは・・」のような協同的な学習を創意工夫しながら進め、学ぶことに興味や関心をもち、見通しをもって学ぶ力を育成していきます。

2. 生活面について

① 学校の楽しさについて



② 思いや願いの受け止めについて

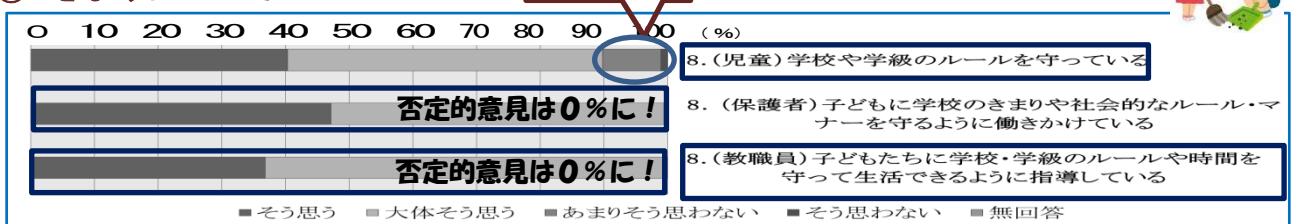


学校の楽しさや困りごとの相談の項目において児童の「そう思う・大体そう思う」と感じている割合が増加し、否定的な意見の割合が減少しています。困りごとの相談においては肯定的意見が10ポイント増加し、積極的に相談しようとする児童の意識が高まっています。しかし、3%の児童が「学校を楽しい」と思えない児童がいる事「困りごとを先生に相談しよう」と思えない児童がいる事を真摯に受け止め、徹底した児童理解に努めています。

③ 人権(思いやり)について



④ きまりについて



ここ数年来「思いやり」「規範意識」に関する項目では児童・保護者共に肯定的意見の数値が上昇し、否定的意見の数値は減少しています。これは、道徳教育を柱とする取組の効果として受け止め、これからも道徳教育を核とする学校教育を推進していきます。

⑤ あいさつについて



道徳的な心情は、道徳教育を推進する中で一歩ずつ育まれ日々の実践にも表れています。「挨拶」に関する意識も、年々向上しています。今後も「あいさつ運動」などの取組を進め、互いに気持ちの良いあいさつができるよう、教職員も子どもたちへの積極的働きかけを行い、あいさつの輪を広げようとする意識の向上を図ります。

⑥ 学校・家庭との連携について

【昨年度より+4ポイント】



「学校・家庭の連携」に関して学校の取組への関心度が高まっています。道徳の教科化に関する聴き取りアンケートからも、道徳の時間の学習内容への関心が高い事が分かりました。今後も学校だよりや学級通信・HP等で積極的に学校の様子を発信していきます。ご家庭でも、一家団欒のひと時を大切にして、子どもたちの話題に耳を傾けていただきますようお願いします。また、子どもたちの日頃の様子をお伝えできる懇談会にも、保護者の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

3. 「学校運営協議会」による学校関係者評価(外部評価)

【時間割や総合的な学習の時間のカリキュラム編成】

学力向上の取組を学校が一丸となって進めていることを評価していました。新しい教育課程編成の為には時間資源の有効活用のために、時間割編成をしていることをご理解いただくと共に教科の学びを深める総合的な学習の時間のカリキュラム編成に対しては、積極的な学習協力の賛同いただきました。



また、「プレゼンテーション能力」など、現代の子どもたちに求められる資質能力を身に着けるために、「美豆タイム」《思考ツールを使った伝え合いの練習》や総合的な学習の時間での学習《課題設定・情報収集・選択・整理・報告・考察》などの、新しい学力観に向けた取組を教科横断的な視点で推進していきます。



「道徳の地域教材や運動会での「美豆音頭」などの郷土愛を育む学校の取組が、行事と関連させながら一年一年完成してきていることはありがたい。子どもたちの学びはいずれ地域に返るだろう。

学校の取組を地域と共に応援する。」というご意見をいただきました。今後も地域行事への児童の積極的な参加を呼びかけ連携しながら「ふるさと教育」を進めていきます。

【学校・家庭・地域の信頼関係について】

経年の道徳教育の取組により、規範意識・人権意識の向上が見られ、保護者も学校の人権教育に対して一定の評価をしていることは良いと思う。また、総合的な時間の取組に対する保護者の期待度が大きいことと思うと、協力することも大切だが、地域のことを更に正確に調べ伝えていかなければならないと思う。」というご意見をいただきました。

学校・家庭・地域が互いに高め合う双方向の信頼関係の構築のために、今後も地域・家庭・学校が連携して、様々な目で子どもたちを見守り育んでいきたいと思います。ご協力ををお願いいたします。

